

令和7年度ひみ未来づくりミーティング議事録（園地区）

日 時 2025/7/15 19:00～
場 所 園コミュニティセンター
出席者 18名
市長、政策統括監、総務部長、企画政策部長、市民部長、産業振興部長、建設部長、教育次長、防災・危機管理監、消防管理監、地域振興課、地域担当職員
進 行 19:00～19:02 市長あいさつ
19:02～19:05 出席者紹介
19:05～19:34 市政の概要について（市長説明）
19:34～20:21 意見交換
20:21～20:22 閉会あいさつ 市長、地区代表

	質問の内容	回答
1	<p>■防災・減災について</p> <p>令和6年1月に震災があったが、今後の防災・減災について3点要望する。園で土砂崩れがあったが、県土木が二次被害防止の対策してくれた。被災住宅への連絡も都度いただいている。①堤のヒビにブルーシートをかけたままで、今もまったく進んでいない。堤は県の所管だが、亀裂の入ったままなので防災の視点で市から県に要望してほしい。②園川はTKXの大浦側が底が低く、堤防のつくりも弱くなっている。昔と比べて流れも速くなっており、柳田から流れてくるので、川が決壊するところ辺と柳田が水浸しになる。補強が必要ではないかと思う。③園川を年2回草刈りしている。これもTKXの横の海側までは足場があるが、そこから足場がなくなりここはいつか誰かが落ちる。足場を作っていただきたい。震災後の復興が優先されると思うが、災害が起こってからでは遅いので対応いただきたい。</p>	<p>■建設部長</p> <p>一緒に現地を見て話をお聞きしたいが、現状確認した内容で回答する。</p> <p>①堤池は農業防災ため池で、現在受益者がいる。受益者がいる間は廃棄できず、補修がいる。県も市も認識している。</p> <p>②園川について、ブロックも割れているため、来年度速やかに取り組む必要があると考える。河川の護岸の補強はお金も時間もかかる。過去、土砂の浚渫をしたことがある。浚渫は短期間でできるため、早めに実施したい。環状南が終了後、護岸のほうに予算を回せるか検討したい。</p> <p>③流れる川の法面は大変だと思う。護岸工事と一緒にできればいいが、そうすると時間がかかる。どうすれば一番速やかに安全になるか相談して進めたい。</p>
2	<p>■移住定住について</p> <p>ふるさと定住促進事業に支援金があるが、最近数名の方から氷見市に住みたいと話があった。何を希望するか聞いたところ、支援金よりも昨今の住みやすいところ。草だらけの家の横には行きたくないとの話があった。住環境がよくなないと移住者が来ないのではないか。</p>	<p>■企画政策部長</p> <p>移住応援センターの話を聞くと、子供の教育環境など様々な点から選ばれると聞いている。氷見の自然環境など特長あるまちを作るとともに、子育てしやすく住みやすい環境も必要であると思っている。</p> <p>■市長</p> <p>安心して暮らせる街でないと選ばれないと思っている。</p>
3	<p>■医食住について</p> <p>昔は、衣食住が重要だと思われていたが、最近は医食住になっているのではないかと考えている。</p> <p>新しい家をいくら建てても、土台がしっかりしていないと倒れると思う。市政でもそうではないか。市民が安心して住める街、当たり前なこと土台がしっかりした氷見市という方向に向けていただければと思う。派手な取り組みではなく、住みやすい街づくりについて地道に取り組んでほしい。</p>	<p>■市民部長</p> <p>金沢医科大学氷見市民病院と連携し、高齢者が安心して暮らせる医療体制を整えている。また高校生相当までの医療費無償化なども進めており、住みやすい街づくりに努めている。</p> <p>■市長</p> <p>公約の3本柱にもある通り、住んでいる人が楽しく過ごしていないと、移住してくる人はいないと思っている。今後も住んでいる人が安心できる街づくりに取り組んでいきたい。</p>

4	<p>■島尾海岸について 18年ほど、島尾公園の管理をしている。その中で、だんだん子供が少なくなり、活気が落ちている。清掃の回数がだんだん減ってきたり、汚れが目立つようになっていく。予算の関係もあると思うが、番屋の近くで海岸通りを通ると番屋には人がいるが公園には誰もいない。「日本の水浴場55選」に選ばれているが、ゴミがものすごく目立つ。毎日掃除するがすごい山になる。手に負えない。浜の清掃に予算当てられないかと思う。外国人の方も氷見の浜に来ているので、恥ずかしくない浜を見せたい。上庄川の近くもゴミが多い。氷見として汚いとこだと思われるのは悲しい。</p>	<p>■市民部長 海岸清掃については、ビーチクリーナーで4、5日かけて清掃してるが、川や海から流れてくるゴミが多い。看板を立ててゴミを流さない取り組みをしているが、常にきれいな状態は難しいと思っている。今後もビーチクリーナーでの対応は続けていきたい。</p>
5	<p>■ふれあいランチについて 園でふれあいランチサービスを行っている。参加者一人につき500円。食費も高くなってきた。コロナ禍でお弁当の対応になった。価格が高くなり、活動費の補助をちょっとでも増やしていただきたく、要望する。</p>	<p>■市民部長 コロナ禍以降対応が変更され、物価高による影響と認識している。 ■市長 物価高対策もパッケージとして対応できるように考えていく。</p>
6	<p>■元々住んでいる人への補助について エコ関係で対応すると国から補助金が出る。壁の塗り替えで補助金を出す市町村があると聞いている。新しく住む人だけでなく、昔から住んでいる人にもなにか補助があるとうれしい。</p>	<p>■企画政策部長 移住のみならず、定住にも補助金がある。新たに3世代や子育て・新婚世帯にも対応するリフォームに補助金を交付し、定住にも力を入れているその拡充については総合戦略の策定の中で検討していきたい。</p>
7	<p>■学童の支援員について 個別対応が必要な児童に対する支援員の資格が早くとれる方策を考えてほしい。66歳で5年縛りは高齢者への負担が大きい。なにか配慮は欲しい。</p>	<p>■市民部長 5年の期間が長いという話や運営自体が厳しいという話も聞いている。放課後児童クラブの運営について、今年度国や県に要望したところ。資格についても、来年度以降要望等進めていく。</p>
8	<p>■高齢者の免許返納について 小矢部市では駐車場に10人乗りのワゴン車があり、市営バスとして運行していた。5路線で市営バスが走っていた。大人一人200円、未就学児・高齢者は無料で、好きな場所で降車できるとのこと。大変いい制度。免許返納後、高齢者は引きこもりになる。</p>	<p>■企画政策部長 神代、園地域は交通空白地との認識はある。現在6地区でNPOバスが運行されている。チョイソコといわれるデマンド運行が余川谷地区で運行されている。今後空白地の交通について地域の方々と相談したい。 ■市長 交通空白地帯になっている現状は理解している。また、いろいろな地域の方から空白地帯の話も聞いている。そういったことも踏まえながら園地区をどうしていくか、地域の方々と話していきたい。</p>